

農のうらライフ LIFE

大洲農業高校生産科学科バイテク班及び園芸バイテク部では、組織培養施設の導入以来バイオテクノロジーの技術を利用して、絶滅危惧種である「ウチョウラン」の栽培・育種研究を継続しています。

今年度の研究目標は、①ウチョウランの自生地調査の実施②バイオテクノロジーの技術を利用した「種」の保存③種の保存を目指したウチョウラン栽培方法の研究④付加価値の向上を目指した品種改良の実施⑤加工品の開発と普及広報活動の実施の5つです。

これらの研究の成果をまとめ、発表し、4年連続で今年度も(日本学校農業クラブ連盟全国大会(南東北大会)に四国ブロックを代表して出場することに

なりました。これも支えていただいた地域の方々のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後も、これらの活動を継続し、最新技術の習得に努めるとともに、情報発信を充実させていきます。私たちは、学校での「学び」を地域での「実践」に繋げ、世界へ「発信」する真の「グローバル・アグリハイスクール」を実践していきます。



大洲農業高校 生産科学科3年 上岡 柊斗さん(写真:下段右から2番目)